

事務事業チェックシート

事務事業No 122 事業名 中間処理事業（焼却処理・破砕処理等）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理・適正管理

事業種別	継続		
事業期間	S61	～	永続
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
関連個別計画	和歌山市循環型社会形成推進地域計画		
担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	永田 敦則	428-4153
関連課	一般廃棄物課・収集センター		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		清掃工場費	
	大事業		清掃工場事業	
	中事業		中間処理事業	

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か 一般廃棄物の焼却と再資源化を図り、適正に処理を行う。		全体事業概要 この中間処理事業（主に焼却処理）は、和歌山市内から出る一般廃棄物などを受入・計量を行った後大型ごみについては破砕処理後焼却又焼却時に出る余熱を利用し発電を行いエネルギーの回収（熱回収）を行っています。発電は所内（同一敷地内に有るし尿処理施設の青岸汚泥再生処理センターを含む）で使用後、余剰分があれば、電力会社へ送電しています。一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務で有り市民生活に直接影響の多い業務であります。 平成24年度から4箇年で、青岸エネルギーセンターの延命化とCO2削減による温暖化対策整備を兼ねた基幹改良を行った。			
	事業内容	平成27年度 ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電 基幹改良整備工事	平成28年度 ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	平成29年度 ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	平成30年度 ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	平成31年度 ごみ受入れ ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,255,419	2,627,547	1,318,471	1,212,031	1,779,925	1,583,748	1,201,069		1,201,069	
伸び率（%）	-	-	▲59.5%	▲53.9%	35.0%	30.7%	▲32.5%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	388,709	407,970	228,099	382,006	374,222	371,981	94,911		94,911
	正規職員以外	23,031	35,559	25,126	36,305	38,648	39,202	16,061		16,061
	小計	411,740	443,529	253,225	418,311	412,870	411,183	110,972		110,972
国庫支出金	7,175	0	9,720	7,165	194,670	180,200				
県支出金										
市債	1,364,600	1,333,300	19,800	14,500	399,000	345,900				
その他	530,244	648,875	523,026	669,947	595,768	573,813	591,840		591,840	
一般財源（税等）	1,533,117	645,372	765,925	520,419	590,487	462,061	609,229		609,229	
所要人数（人）	正規職員	39.25	54.86	39.25	48.06	47.08	46.64	11.9		11.9
	正規職員以外	8.43	18.10	8.43	16.77	17.11	17.15	6.98		6.98
主な予算内訳	消耗品費181,615（千円）・機械修繕料477,999（千円）・管理委託料388,937（千円）他									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標 総搬入量（エネルギーセンター）	t	目標値				
		実績値	79,498	87,808	84,128	
		達成度(%)				
活動指標 総搬入量（クリーンセンター）	t	目標値				
		実績値	50,106	39,443	41,640	
		達成度(%)				
成果指標 売電量（エネルギーセンター）	kWh	目標値				
		実績値	9,944,944	13,811,944	14,270,402	
		達成度(%)				
成果指標 売電量（クリーンセンター）	kWh	目標値				
		実績値	3,125,970	2,479,005	2,705,068	
		達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
見直し・改善内容	